

155ヶ国データによる

食品類一人当たり供給量と平均寿命の関係

研究の目的

食品の消費量と健康との関連性について包括的な知見を得ることを目的に、FAOの Food Balance Sheetsのデータを用いて、一人当たり供給量と平均寿命の関係を解析した。

結果のポイント

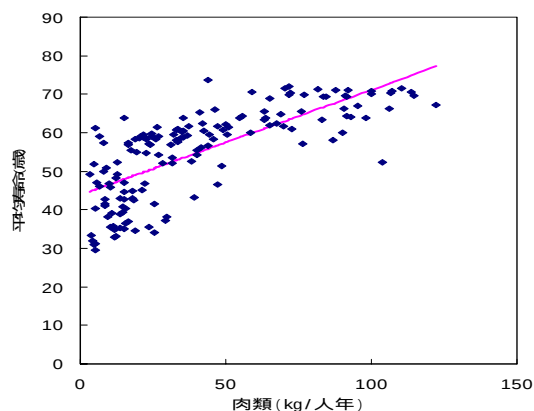
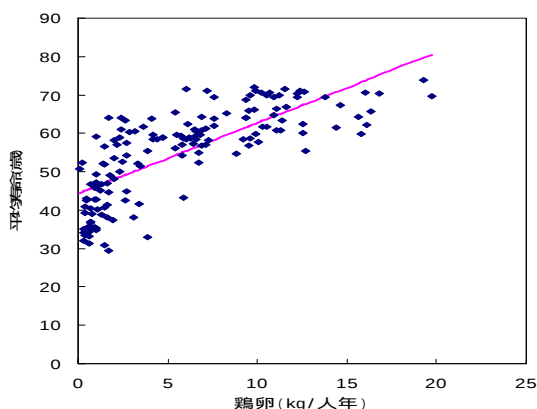
一人当たり供給量が平均寿命と正の相関を示す食品類は20項目中13項目に達するが、国民所得より相関係数が高い食品類はない。

鶏卵、野菜、牛乳乳製品などは、国民所得の影響を考慮しても、一人当たり供給量の多い国では平均寿命が長い。

穀類と油糧種子は、国民所得の影響を考慮すると、一人当たり供給量の多い国では平均寿命が長い。

豆類といも類は、一人当たりの供給量の多い国では平均寿命が短い。

3種10区分について区分別に解析すると、野菜は5区分で偏回帰係数が正に有意となった。



一人当たり供給量と国民所得(対数)の2変数による平均寿命に対する重回帰分析(全変数法)

食品類	標準偏回帰係数
鶏卵	0.31 **
野菜	0.21 **
牛乳乳製品	0.19 **
肉類	0.16 *
砂糖類	0.13
穀類	0.11 *
油糧種子	0.09 *
嗜好飲料	0.07
海草類	0.06
香辛料	0.06
植物油脂	0.05
動物油脂	0.05
臓物類	0.04
砂糖作物	0.04
種実類	0.03
果実	0.01
魚介類	-0.01
酒類	-0.10
いも類	-0.11 *
豆類	-0.14 **

野菜の一人当たり供給量及び国民所得(対数)による平均寿命に対する単回帰2変数を説明変数とした場合の重回帰分析

		回 帰 係 数		偏回帰係数
		野菜供給量	国民所得	野菜供給量
全	体	0.11 **	14.1 **	0.042 **
国民所得	上 位	-0.01	7.8 *	0.010
	中 位	0.03 *	8.9 **	0.030 *
	下 位	0.15 **	24.7 **	0.099 **
供給量	上 位	0.03	8.6 **	0.011
	中 位	0.24 **	12.2 **	0.108 *
	下 位	0.29	16.2 **	0.051
地域	アジア	0.05 **	9.3 **	0.008
	ヨーロッパ	0.01	7.8 **	0.021 *
	アフリカ	0.15 **	12.2 **	0.107 **
	アメリカ・オセアニア	0.09 **	10.0 **	-0.031



代表研究者: 柳本正勝
所 属: 応用微生物部

問合わせ先: 研究交流科 関谷 修三
e-mail: atunisi@nfri.affrc.go.jp